

1984年 大会記録

国際

世界ジュニア選手権(7月3～6日、米国ワシントンDC)

《フリースタイル》 48kg級 岩間一人(青森・光星学高) = 3位、 52kg級 金浜良(青森・光星学高) = 優勝、 56kg級 松島一起() = 二失、 60kg級 吉田実=(茨木・霞ヶ浦高) 4位、 65kg級 神鷹一彦(大阪・高石) = 二失、 70kg級 関川一人(青森・光星学高) = 3位、 75kg級 浅沼俊幸(青森・光星学高) = 2位、 81kg級 宮崎一人() = 6位、 87kg級 鈴木明(群馬・館林) = 3位、 87kg以上級 出口一也(和歌山・和歌山東) = 3位

《グレコローマン》 48kg級 笹山秀雄(青森・光星学高) = 2位、 52kg級 塚田英樹(千葉・四街道高) = 5位、 56kg級 = 派遣なし、 60kg級 戸崎素成(岐阜・岐阜工高) = 二失、 65kg級 倉館健(青森・光星学高) = 2位、 70kg級 高木博章(兵庫・神戸西高) = 5位、 75kg級 吉村周次() = 4位、 81kg級 佐藤将人(新潟・新潟南高) = 5位、 87kg級 上田正倫(千葉・八千代松陰高) = 4位、 87kg以上級 平野稔(青森・八戸工大一) = 2位

ロサンゼルス五輪(7月31日～8月11日、米国・ロサンゼルス)

《フリースタイル》 48kg級 入江隆(自衛隊)、 52kg級 高田裕司(群馬・館林高教)、 57kg級 富山英明(日大教)、 62kg級 赤石光生(日大)、 68kg級 上村政和(日大)、 74kg級 樋口直巳(奈良県体教)、 82kg級 長島偉之(栃木・足利工高教)、 90kg級 太田章(早大教)、 100kg級 本田多聞(日大)、 100kg級以上 石森宏一(大体大)

《グレコローマン》 48kg級 斉藤育造(和歌山県教委)、 52kg級 宮原厚次(自衛隊)、 57kg級 江藤正基(自衛隊)、 62kg級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg級 根本誠次(茨城・藤代紫水高教)、 74kg級 向井孝博(自衛隊)、 82kg級 森山泰年(自衛隊)、 90kg級 馳浩(石川・星稜高教)、 100kg級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教)、 100kg級以上 安藤正哉(安藤コンクリート)

ワールドカップ=グレコローマン(11月9～11日、フィンランド・セイナジョギ)

5位(1勝3敗1分け)

1回戦 日本 [2 - 8] フィンランド

2回戦 日本 [5 - 5] 欧州選抜
3回戦 日本 [6 - 4] エジプト
4回戦 日本 [0 - 10] ソ連
5回戦 日本 [2 - 8] 米国

《個人成績》 48kg 級 蝦名康一(自衛隊) = 3勝2敗、 52kg 級 佐藤満(日体大研) = 2勝3敗、 57kg 級 大城利幸(自衛隊) = 2勝3敗、 62kg 級 野辺洋和(日体大) = 1勝4敗、 68kg 級 大久保康裕(自衛隊) = 3勝2敗、 74kg 級 谷一郎(群馬・沼田高教) = 1勝4敗、 82kg 級 屋比久保(国土館大) = 2勝3敗、 90kg 級 武藤光一(日体大) = 5敗、 100kg 級 対馬正敏(自衛隊) = 1勝4敗、 130kg 級 浅井功(日体大) = 5敗

国内

ロサンゼルス五輪第4次選考会(3月1~1日、東京・駒沢体育館)

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 入江隆(自衛隊)、 52kg 級 佐藤満(日体大)、 57kg 級 富山英明(日大教)、 62kg 級 赤石光生(日大)、 68kg 級 杉野浩吉(自衛隊)、 74kg 級 樋口直己(奈良県体協)、 82kg 級 長島偉之(栃木・足利工高教)、 90kg 級 太田章(早大教)、 100kg 級 本田多聞(日大)、 100kg 級以上 森康弘(山瀬農協)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 斉藤育造(和歌山県教委)、 52kg 級 宮原厚次(自衛隊)、 57kg 級 江藤正基(自衛隊)、 62kg 級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg 級 中島光正(とりせん)、 74kg 級 向井孝博(自衛隊)、 82kg 級 森山泰年(自衛隊)、 90kg 級 馳浩(専大)、 100kg 級 藤田芳弘(和歌山県教委)、 100kg 級以上 松永清志(和歌山県教委)

全国高校選抜大会(3月30~31日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院高(4年連続5度目)、[2] 秋田・秋田商、[3] 鹿児島・鹿児島商工、岐阜・岐阜工

《個人戦優勝者》 48kg 級 笹山秀雄(青森・光星学院)、 52kg 級 近浦淳二(埼玉・埼玉栄)、 56kg 級 木村義治(青森・光星学院)、 60kg 級 戸崎素成(岐阜・岐阜工)、 65kg 級 倉館健(青森・光星学院)、 70kg 級 関川清人(青森・光星学院)、 75kg 級 浅沼俊幸(青森・光星学院)、 75kg 以上級 鈴木明(群馬・館林)

西日本学生春季新人戦 = フリースタイル (4 月 29 日、大阪・桃山学院大)

《優勝者》 48kg 級 藤原亮 (南九州大)、 52kg 級 土直博 (鹿屋体育大)、 57kg 級 仮屋広和 (徳山大)、 62kg 級 大河内幸保 (福岡大)、 68kg 級 藤崎幸保 (福岡大)、 74kg 級 原田芳生 (徳山大)、 82kg 級 西田学人 (桃山学院大)、 90kg 級 恒川寿正 (同志社大)

フリースタイルのみ実施

全日本選手権 = グレコローマン (5 月 4 ~ 5 日、東京・代々木競技場第 2 体育館)

《優勝者》 48kg 級 斉藤育造 (和歌山県教委)、 52kg 級 宮原厚次 (自衛隊)、 57kg 級 江藤正基 (自衛隊)、 62kg 級 長内清一 (三八教育事務所)、 68kg 級 根本誠次 (茨城・藤代紫水高教)、 74kg 級 向井孝博 (自衛隊)、 82kg 級 森山泰年 (自衛隊)、 90kg 級 馳浩 (石川・星稜高教)、 100kg 級 藤田芳弘 (和歌山・和歌山北高教)、 100kg 級以上 安藤正哉 (安藤コンクリート)

全日本選手権 = フリースタイル (5 月 12 ~ 13 日、茨城・茨城県スポーツセンター)

《優勝者》 48kg 級 入江隆 (自衛隊)、 52kg 級 高田裕司 (群馬・館林高教)、 57kg 級 富山英明 (日大教)、 62kg 級 赤石光生 (日大)、 68kg 級 上村政和 (日大)、 74kg 級 樋口直巳 (奈良県体教)、 82kg 級 長島偉之 (栃木・足利工高教)、 90kg 級 太田章 (早大教)、 100kg 級 本田多聞 (日大)、 100kg 級以上 石森宏一 (大体大)

東日本学生リーグ戦 (5 月 16 ~ 19 日、東京・駒沢体育館)

《順位》 [1] 日体大 (6 年連続 8 度目)、 [2] 専大

(A 組) [1] 日体大、 [2] 日大、 [3] 法大、 [4] 明大、 [5] 大東大、 [6] 拓大

(B 組) [1] 専大、 [2] 国士大、 [3] 東洋大、 [4] 東海大、 [5] 山梨学院大、 [6]

中大

西日本学生選手権 (5 月 25 ~ 27 日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 是永順次 (福岡大)、 52kg 級 土直博 (鹿屋体育大)、 57kg 級 国広幸信 (徳山大)、 62kg 級 表正光 (徳山大)、 68kg 級 田中正昭 (同志社大)、 74kg 級 窪田直人 (同志社大)、 82kg 級 恒川寿生 (同志社大)、 90kg 級 笹部文男 (福岡大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 是永順次 (福岡大)、 52kg 級 田中智 (関大)、 57kg 級 鍛冶将喜 (近大)、 62kg 級 福川敦 (桃山学院大)、 68kg 級 田中正昭 (同志社大)、 74kg 級 足立涉 (徳山大)、 82kg 級 恒川寿生 (同志社大)、 90kg

級 奥村広人(同志社大)

全日本社会人選手権(6月2~3日、埼玉・朝霞総合体育館)

《団体戦優勝チーム》 官公庁 自衛隊、 実業団 アイシン精機、 クラブ 奈良クラブ

《フリースタイル優勝者》 48kg級 蝦名康一(自衛隊)、 52kg級 堀江(鳥取県協会)、 57kg級 五十嵐淳一(自衛隊)、 62kg級 橋浦晋(鳥取県協会)、 68kg級 五位塚悟(山梨・葎崎工高教)、 74kg級 梅木稔(自衛隊)、 82kg級 菊地隆(和歌山県教委)、 90kg級 対馬正敏(自衛隊)、 100kg級 保坂竹道(自衛隊)、 130kg級 山本邦寿(滋賀県協会)

《グレコローマン優勝者》 48kg級 蝦名康一(自衛隊)、 52kg級 大川秀和(奈良ク)、 57kg級 大城利幸(自衛隊)、 62kg級 飛田達也(自衛隊)、 68kg級 作田勝広(自衛隊)、 74kg級 伊藤広道(自衛隊)、 82kg級 福岡浩二(富治商品)、 90kg級 東出徹(奈良ク)、 100kg級 保坂竹道(自衛隊)、 130kg級 秋山安成(自衛隊)

東日本学生春季新人戦(6月21~23日、東京・駒沢体育館)

《フリースタイル優勝者》 48kg級 佐々木清文(東洋大)、 52kg級 山下浩(日体大)、 57kg級 清藤直博(国士館大)、 62kg級 森下敏清(日体大)、 68kg級 赤石光生(日大)、 74kg級 角崎朋博(日体大)、 82kg級 伊藤敦(日体大)、 90kg級 武藤光一(日体大)、 90kg以上級 本間和吉(専大)

《グレコローマン優勝者》 48kg級 田代清一郎(東海大)、 52kg級 藤波俊一(日体大)、 57kg級 中留俊司(日体大)、 62kg級 小芦英夫(法大)、 68kg級 大拙守(明大)、 74kg級 長谷川幸生(東洋大)、 82kg級 伊藤敦(日体大)、 90kg級 武藤光一(日体大)、 90kg以上級 浅井功(日体大)

西日本学生春季リーグ戦(6月29日~7月1日、大阪・大阪府立体育会館別館)

《順位》[1]徳山大(5季ぶり5度目)、[2]同志社大、[3]福岡大、[4]近大、[5]関大、[6]大体大

インターハイ(8月1~4日、秋田・五城目町広域体育館)

《学校対抗戦》[1]青森・光星学院(3年連続5度目)、[2]秋田・秋田商、[3]鹿児島・鹿児島商工、茨城・霞ヶ浦

《個人戦優勝者》 48kg 級 笹山秀雄(青森・光星学院)、 52kg 級 金浜良(青森・光星学院)、 56kg 級 岡田実(秋田・秋田商)、 60kg 級 吉田実(茨城・霞ヶ浦)、 65kg 級 倉館健(青森・光星学院)、 70kg 級 関川清人(青森・光星学院)、 75kg 級 浅沼俊幸(青森・光星学院)、 75kg 以上級 出口一也(和歌山・和歌山東)

全日本学生選手権(8月28~31日、大阪・大阪府立体育会館)

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 小林孝至(日大)、 52kg 級 上島一敏(国土館大)、 57kg 級 角地山豊(日大)、 62kg 級 西真太郎(日体大)、 68kg 級 赤石光生(日大)、 74kg 級 平山宣伸(日体大)、 82kg 級 安田紀久雄(日体大)、 90kg 級 水橋徹(国土館大)、 100kg 級 本田多聞(日大)、 100kg 以上級 猿田充(国土館大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 大橋正教(山梨学院大)、 52kg 級 一色啓雄(専大)、 57kg 級 我妻雄比古(日体大)、 62kg 級 野辺洋和(日体大)、 68kg 級 原喜彦(日体大)、 74kg 級 山田幸広(日体大)、 82kg 級 安田紀久雄(日体大)、 90kg 級 武藤光一(日体大)、 100kg 級 本田多聞(日大)、 100kg 以上級 猿田充(国土館大)

西日本学生新人戦(9月8~9日、大阪・桃山学院大)

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 = 出場なし、 52kg 級 保田昌伸(同志社大)、 57kg 級 岡本好文(近大)、 62kg 級 北風邦治(近大)、 68kg 級 城崎公胤(同志社大)、 74kg 級 国沢龍志(近大)、 82kg 級 芳村昌秀(同志社大)、 90kg 級 西田学人(桃山学院大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 = 出場なし、 52kg 級 鈿持俊昭(近大)、 57kg 級 岡本好文(近大)、 62kg 級 城崎城崎公胤(同志社大)、 68kg 級 角南裕章(近大)、 74kg 級 国沢龍志(近大)、 82kg 級 芳村昌秀(同志社大)、 90kg 級 恒川寿正(同志社大)

全日本学生王座決定戦(9月28~29日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

日体大 [5 - 4] 日大

日体大は7年連続8度目の優勝

ワールドカップ代表選考会 = グレコローマン(10月4日、東京・青少年総合センタ

-)

《優勝者》 48kg 級 蝦名康一（自衛隊）、 52kg 級 佐藤満（日体大研）、 57kg 級 大城利幸（自衛隊）、 62kg 級 野辺洋和（日体大）、 68kg 級 大久保康裕（自衛隊）、 74kg 級 谷一郎（群馬・沼田高教）、 82kg 級 屋比久保（国士館大）、 90kg 級 武藤光一（日体大）、 100kg 級 対馬正敏（自衛隊）、 130kg 級 浅井功（日体大）

国体（10月13～16日、奈良・河合町立体育館、斑鳩高）

《成年フリースタイル優勝者》 48kg 級 小林孝至（茨城・日大）、 52kg 級 清水清人（宮崎・日南高教）、 57kg 級 角地山豊（青森・日大）、 62kg 級 栄和人（奈良・県体協）、 68kg 級 五位塚悟（山梨・県運動場）、 74kg 級 樋口直巳（奈良・県体協）、 82kg 級 菊地隆（和歌山・県体育館）、 90kg 級 茂木優（秋田・秋田商高教）、 100kg 級 本田多聞（茨城・日大）、 100kg 級以上 森康哲（徳島・山瀬農協）

《成年グレコローマン優勝者》 48kg 級 斉藤育造（和歌山・県教育庁）、 52kg 級 宮原厚次（埼玉・自衛隊）、 57kg 級 三宅正徳（岐阜・大垣養護学教）、 62kg 級 野辺洋和（宮崎・日体大）、 68kg 級 根本誠次（茨城・藤代紫水高教）、 74kg 級 谷一郎（群馬・沼田高教）、 82kg 級 屋比久保（沖縄・国士館大）、 90kg 級 東出徹（奈良・県体協）、 100kg 級 天野貞雄（大阪・吹田クラブ）、 100kg 級以上 安藤正哉（岐阜・安藤コンクリート）

《少年フリースタイル優勝者》 48kg 級 笹山秀雄（青森・光星学院）、 52kg 級 金浜良（青森・光星学院）、 56kg 級 岡田実（秋田・秋田商）、 60kg 級 安達巧（鹿児島・鹿児島商工）、 65kg 級 倉館健（青森・光星学院）、 70kg 級 関川清人（青森・光星学院）、 75kg 級 浅沼俊幸（青森・光星学院）、 81kg 級 本間弘明（山形・山形商）、 87kg 級 鈴木明（群馬・館林）、 87kg 以上級 間山泰範（北海道・岩見沢農）

《少年グレコローマン優勝者》 48kg 級 沖山功（茨城・霞ヶ浦）、 52kg 級 近浦淳二（埼玉・埼玉栄）、 56kg 級 小林照雄（新潟・巻農）、 60kg 級 山田琢也（京都・宇治）、 65kg 級 小泉徹（秋田・秋田商）、 70kg 級 鳥首義隆（徳島・貞光工）、 75kg 級 小林希（群馬・沼田）、 81kg 級 浜田金彦（三重・鳥羽）、 87kg 級 久米田雅勝（青森・光星学院）、 87kg 以上級 出口一也（和歌山・和歌山東）

東日本学生グレコローマン選手権（10月20日、東京・駒沢体育館）

日体大 [7 - 2] 国士館大

全日本大学選手権（11月17～18日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》 48kg級 小林孝至（日大）、 52kg級 山下浩（日体大）、 57kg級 角地山豊（日大）、 62kg級 西慎太郎（日体大）、 68kg級 赤石光生（日大）、 74kg級 平山宣伸（日体大）、 82kg級 赤石明雄（国土館大）、 90kg級 水橋徹（国土館大）、 100kg級 本田多聞（日大）、 100kg級以上 猿田充（国土館大）

《大学対抗得点》[1]日大（初）、[2]日体大、[3]国土館大

東日本学生秋季新人戦（11月7～9日、東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》 48kg級 田代清一郎（東海大）、 52kg級 岩本博行（国土館大）、 57kg級 倉田信幸（中大）、 62kg級 西口茂樹（日体大）、 68kg級 有延伸一（国土館大）、 74kg級 高橋信明（専大）、 82kg級 坂野下喜三（日大）、 90kg級 山本哲也（専大）、 90kg以上級 呑香竜二（日大）

《グレコローマン優勝者》 48kg級 菅沢孝一（専大）、 52kg級 吉村進（国土館大）、 57kg級 清藤直博（国土館大）、 62kg級 西口茂樹（日体大）、 68kg級 有延伸一（国土館大）、 74kg級 角崎朋博（日体大）、 82kg級 宮崎達也（大東大）、 90kg級 中山淳（日体大）、 90kg以上級 奈良英則（日大）

西日本学生秋季リーグ戦（11月30日～12月2日、大阪・大阪府立体育会館別館）

《順位》[1]同志社大（2季ぶり6度目）、[2]福岡大、[3]徳山大、[4]桃山学院大、[5]関大、[6]近大